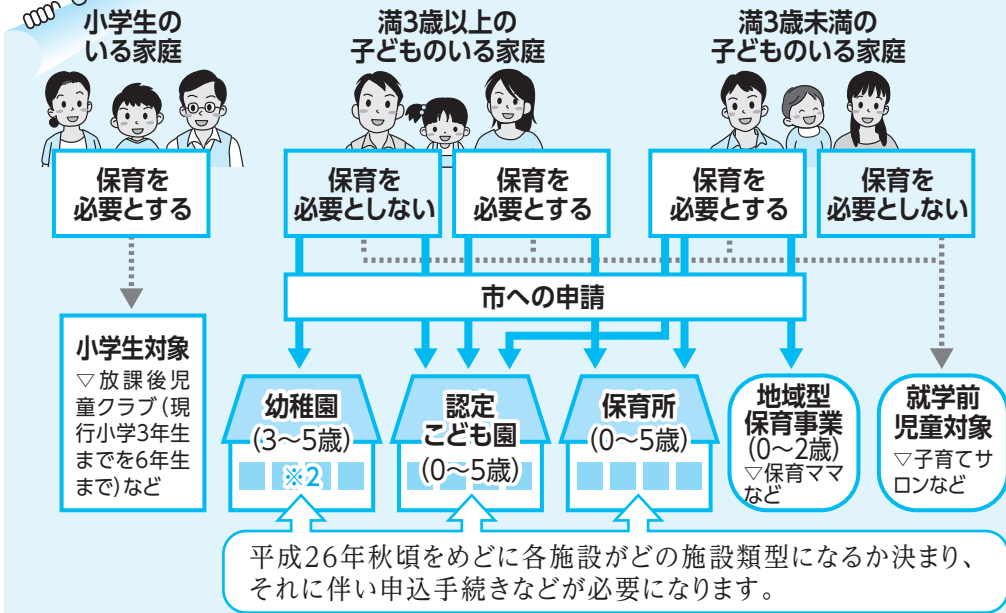




大いちょう博士

ミヤリー

新制度での子育てサービスの提供イメージ



子ども・子育て支援新制度

市の子育て支援を総合的に推進

平成27年4月から、「子ども・子育て支援新制度」がスタートする予定です※1。この制度は、これまでの子育てをめぐる課題の解決を目指した取り組みによる子育て支援の充実を目的としています。子どもたちといつも仲良しなミヤリーは、「子ども・子育て支援新制度」について、大いちょう博士に聞きました。

子育て支援の新しい仕組み

最近ニュースで消費税増税分の一部を子育て支援に使うと聞いたよ。

うむ。今、国は「子ども・子育て支援新制度」の検討を進めているんじゃない。親の働く状況の違いに関わらず、幼児期の学校教育や保育が受けられたり、待機児童を解消したり、地域での子育て支援にお金を使っていくんじゃないよ。

子ども・子育て会議

国も市も子育て支援にさらに力を入れるんだ。でも宇都宮で子育てする人たちの生活に合っていないといけないよね。

その通り。市はこの制度を市の子育て家庭

庭の実情に合ったより良いものにするため、子育て世帯へ「ニーズ調査」を行っているんじゃない。また、「子ども・子育て会議」を設置して、宇都宮らしい子育て支援の仕組み作りを目指して制度の実施に向けた準備を進めているんじゃない。

会議には、どんな人が参加しているの。

子どもの保護者や幼稚園・保育所などのサービスを提供している子育て支援担当者、事業主や労働者を代表する人などが、制度を運用するための子育てサービスの基準の制定や計画について話し合うんじゃない。

子育てについての意見は、いろいろだろ

うし、みんながよく話し合っただけで決めることが重要だよ。

親だけでなく地域全体で子育てを

塩見 浩之さん(子ども・子育て会議委員)

近くに親族がない私たちの子育ては、常に周囲の温かな手助けによって支えられてきました。特に保育園の友人ネットワークやご近所とのつながりなど、社会と接点を持つことが、親だけでなく子どもにも良い影響をもたらすと思います。社会全体で、子どもや子育て世帯を見守る宇都宮になって欲しいです。

全ての宮っこが健やかに育つように

柳沼 淳子さん(子ども・子育て会議委員)

親として、社会の一員として、「地域での子育て」の大切さを伝えたいと思います。会議に参加しています。地域の子育てサークルや講座に参加した経験では、同世代の仲間を得て心強く感じました。子育ての悩みを話せたり、年配者の経験に基づく助言を得られたりできる、色々な交流の場を望んでいます。

※1 「子ども・子育て支援新制度」は、消費税を財源として実施する制度のため、消費税の10パーセント引き上げ時期を踏まえて、早ければ平成27年度からスタートする制度です。

※2 幼稚園には、上の図の他、現行どおり市への申請が不要なものもあります。

◎この特集についての問い合わせは、子ども未来課 ☎(632)2342へ。